

近着石刻関係書所収元代石刻リスト9

森田 憲司

第12号に引き続き、近年に中国で刊行され、日本に入荷した石刻関係書のうちから、元代石刻の拓影や写真、あるいは録文を掲載するものを紹介する。なお、各石刻の名称には、筆者が拓影によって題額などから採録したものや独自に命名したものもあり、各書籍が石刻に附している名称とは同じではない場合が少なくない。碑刻の年代についても同じ。

無錫碑刻陳列館（『無錫文博』2005年増刊1号） 2005年12月

簡体字録文を掲載。

聖旨碑 至元31年（1294）7月（文書日付） 拓影あり

重修無錫州儒学記 至元2年（1336）8月戊申建

無錫州洞虚宮重建三元祠山殿記 至正4年（1344）10月立石 写真

※この碑は、他の碑に転用されていたものが発見されたもの

本書は山本明志氏の招来によって知った。少し前の文献だが、知られていない資料を含むため紹介する。

三晋石刻大全 晋中市寿陽県卷 史景怡主編 山西古籍出版社 2007年12月

鉅冊、拓影と簡体字録文に解説を附し、対象は人民共和国におよぶ。

序文に『寿陽碑碣』（本誌12号掲載）をベースにしたとあり、元朝については採録石刻は同じ。なお、いずれの本でも、このほかに2件が『山右石刻叢編』から採録されている。

昭濟聖母腹中石幢（本書） 延祐5年（1318）3月15日 94p

石氏先塋之誌（篆額） 至治3年（1323）8月10日 95p

刀村福田院勅建正殿碑記（首題） 至順4年（1333）庚申月甲午日 96p

皇唐李長者（碑） 元統3年（1335）4月13日 100p

故高義妻趙氏墓誌銘 至正2年（1342）4月 102p

※横題に高氏世系之図とあり

務副趙景思之墓（横題） 至正5年（1345）9月15日 103p

重修寿陽県北山竜王廟記（首題） 至正甲午（14/1354）4月1日 104p

福州市に属する5区8県所在の2000年までの摩崖石刻について、カラー写真、句読点付き簡体字録文を掲載する。『閩中金石記』や地方志の記事に基づく解説を附し、問題のあるものについては、「疑刻」としている。

今回は、碑のタイトルは本書の命名を採り、日付については、原刻の日付表記をそのまま転記して、西暦を附すにとどめた。なお、本来は、登場する全人名を紹介すべきかもしれないが、煩を避けるため、おこなっていない。

烏石山摩崖

- 僧家奴等聯句 至正九年(1349)八月望日 16p
材君則等題名 天曆己巳(2/1329)仲冬八日 17p
張伯陽等題名 至元後庚辰(6/1340)人日 17p
焦寬甫等題記 元默敦牂仲秋後之二日 17p
壬午なので、至正2年(1342)か。
劉順老等題名 至正三年癸未(1343)重九 18p
八都児丁等題名 至正丁亥(7/1347)冬季月乙酉日 19p
李世安等題記 至正十三年(1353)良月九日 19p
王伯顔不花等題名 至正庚子(20/1360)・・四月廿又五日 20p
天秀岩榜書 至正甲辰(24/1364)四月 021p

黎公崖榜書

解説によれば、明の嘉靖のものであるが、元の畢臣礼の題刻の上に覆せて刻されており、元刻の一部も写真に写っている。

于山摩崖石刻

- 朱文信詩刻 至元丁亥(24/1287)春 41p

鼓山摩崖石刻

- 郝彦澤詩刻 至元戊寅(4/1338)人日 74p
「至元戊寅」については、前至元15年(1278)もありえないことはないが、おそらくこちらであろう。
趙文昌詩刻 大徳二年(1298)正月春乙未 74p
潘昴霄の名が見える
題名の左下に、「是年四月」の「靖」等の題名あり
薛朝晤等題名 至正廿五年(1365)秋八月朔日 75p
王用文榜書 日付なし 75p
王用文は前條に名が見える。
鳳池山榜書 日付なし 110p

『閩中金石志』は元刻とするも佐証なしとして、本書は「疑刻」とする

升山摩崖石刻

- 也先不花大年等題名 至正辛卯(11/1351)元旦後五日 113p

瑞岩山摩崖石刻

- 李羅天章詩刻 至正己丑 (9/1349) 秋仲暇日 138p
 鄭希建等題名 至正辛卯 (11/1351) 夏 138p
 蔣士樞?等題名 至正二十六年 (1366) 丙午四月二十五日? 139p
 「日」は写真では「田」に見える。
 陳舜玉等題名 至正丙午 (26/1366) 秋七月二日 139p
 王伯顔等題名 至正二十一年 (1361) 三月 140p
 徐子正等題名 至正丁未 (27/1367) 孟冬朔[朔?]日 140p
 廉吉祥等題名 至正丙午 (26/1366) 八月一日 140p
 李羅天章榜書 至正己丑 (9/1349) 菊節 141p
- 兔耳山摩崖石刻
 陳氏榜書 至正九年 (1349) 197p
- 聖水寺摩崖石刻
 葛仲温等題名 至正乙巳 (25/1365) 冬 218p
 陳高等題名 日付なし 218p
 「不繫舟漁者陳高」とある。
- 栖雲洞摩崖石刻
 太史玄榜書 日付なし 222p
 本書がこれを元のものとする根拠不明。
- 興祥寺摩崖石刻
 葛仲温題名 至正丙午 (26/1366) 春 225p
- 方広岩摩崖石刻
 李良傑榜書 大徳十年丙午 (1306) 三月吉日 233p
 薛朝晤等題名 至正乙巳 (25/1365) 春 233p
 王用文榜書 至正甲辰 (24/1364) □ 234p
 □の一字、写真では見えず、録文もなし。
 王用文榜書 至正甲辰 (24/1364) 冬 234p
- 方壺岩摩崖石刻
 薛子顯等題名 至正壬午 (2/1342) 秋 239p
 闔山福地榜書 至正元年 (1341) 春 240p
 筆者名なし
 用文榜書 240p
 「用文書」とあり、本書は頗出する王用文に比定。

雲居寺貞石録 雲居寺文物管理处編 北京燕山出版社 2008年11月

民国までの石刻を集めている。解題、句読点つき繁体字録文、拓影もしくは写真を掲載。現在不完全なものについては、文献による碑文復元もある。

重修華嚴堂經本記殘石 至正元年 (1341) 5月8日立石 40p

※原石は残石で、掲載の録文は『房山石經題記彙編』によるもの
大都房山県小西天石經山雲居禪寺藏經記（首題） 至元2年（1336）6月1日建 93p
※この碑の拓影は、『北京元代史蹟図志』にも掲載されるが、当該石刻の現状がそうであるように鉄枠が嵌められた状態での拓本で、全文を読むことはできない。本書の拓影は鉄枠のない状態のものであり、価値が高い。

天開寺聖旨碑 至元31年（1294）4月立石 194p
※拓影不鮮明なため、内容は本書の録文によるが、虎年2月20日、兔年7月3日の直訳体聖旨を載せる。いずれも対象は天開寺の趙長老。『元代白話碑集録』未収、『北京元代史蹟図志』にもない。

有元故医隱賈君阡表（首題）〔賈徳全〕 大徳8年（1304）2月癸卯立石 196p
碑陰は、大元大都路涿州房山県西南懷王郷抱玉里医隱賈君宗派之図
※ 録文は碑陽のみ、拓影は碑陰のみで、写真は碑陽の小さい写真だけで、碑陰の写真はない。

（もりた けんじ 奈良大学）